

事務事業評価シート(平成20年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名	
08407	図書館管理運営事業	教育委員会	図書館	林一昭	吉澤志津江	
		一次評価年月日	平成 21 年 7 月 3 日	連絡先(内線)	2550	
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)	
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	1052	図書館管理運営事業	
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	5章	まなび合う社会の創造	
		節	(コード選択)	1節	地方分権化に積極的に対応する	
		項[基本施策]	(コード選択)	513	文化活動・社会教育活動の促進	
		主な取り組み	(コード選択)	5134	図書館サービスの充実	
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他					
事務期間	(開始) T10 年度 ~ (終了予定) 年度 L	開始時期不明		<input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし		

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

住民

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

多様化する図書館利用者の需要に対応するために専門書や郷土資料をはじめとして、できる限り様々な資料や情報を利用できるように図書館資料の充実と努めると同時にだれもが気軽に利用でき、くつろげる雰囲気作りに努力し、より多くの人々に利用してもらえ図書館にしていきたい。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 施設・設備・環境・資料の整備・充実
- 広報・文字放送・図書館だより・館内掲示・新聞等によるピーアールの充実
- リクエスト・予約・レファレンスサービスの利用促進
- 児童・高齢者・障害者等に対するサービスの充実をはかるため、地域ボランティアへの支援。

指標化

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		19年度	20年度	21年度(見込み)		22年度(見込み)	年度(見込み)
①	指標名	蔵書数	60,131	59,500	60,000		60,000
	説明	図書・雑誌・ビデオ・紙芝居・録音テープの数	目標値設定の根拠 図書館のキャパシティに見合った資料数を保持する。				
②	指標名	リクエスト・予約数	887	623	850		1,000
	説明	リクエスト・予約数	目標値設定の根拠 平成20年度数値から推定して				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		19年度	20年度	21年度(見込み)		22年度(見込み)	年度(見込み)
①	指標名	利用者数	30,964	28,361	22,000		22,500
	説明	図書館入館者数	目標値設定の根拠 平成20年度数値から推定して、ただし21年度以降は入館者数ではなく資料利用者数による数字を計画値とする。				
②	指標名	貸出冊数	60,958	59,849	61,500		62,500
	説明	図書館資料貸出冊数	目標値設定の根拠 平成20年度数値から推定して				

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) = ①+②	(千円)	平成19年度決算	平成20年度決算	平成21年度見込み	平成22年度見込み					
		28,985	26,203	38,906	34,906					
対前年比	%		90.4	148.5	89.7					
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)				860						
B) 一般財源(税金)		28,985	26,203	38,046	34,906					
①事業費	(千円)	11,689	15,349	19,035	15,035					
対前年比	%		131.3	124	79					
②人件費の概算	(千円)	17,296	10,854	19,871	19,871					
対前年比	%		62.8	183.1	100					
		課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費
		H20 H21 H22	H20 H21 H22	H20 H21 H22	H20 H21 H22	H19 H20 H21 H22				
町職員(正規職員)		0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	1.00 1.00 1.00	0.00 1.00 1.00	2.00 1.00 2.01 2.01	15,016	8,533	14,794	14,794
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート				0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00	2,280	2,321	5,077	5,077

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	B	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある 広域および学校図書館とのネットワーク構築 C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している カウンターに寄せられる声応える。図書館協議会、絵本講座、読み聞かせボランティアなどの関係団体構成員に日常的にうかがっている。 C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(事業改善をした内容と実施時期を記入します。)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

21年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

地域の情報源として、図書資料の充実を更に図っていきたい。テーマを定めた図書の収集を検討すべきと考えます。

- A. 貢献度 大
 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止



上記 a~e を選択